

川上ダム通信

2019
5
月号



Vol. 164
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



新所長からのご挨拶

このたび川上ダム建設所長として着任しました瀧上吾郎(ふちがみごろう)と申します。四国吉野川にある早明浦ダム再生事業推進室より転任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

川上ダム建設事業が昭和57年より建設省から水資源機構の前身である水資源開発公団に引き継いで以降、地権者の方々をはじめとする地元の皆さま、三重県や伊賀市等の関係機関の方々から多大なご協力をいただき、事業を進めてまいりました。

皆さまのご支援のもと、平成29年11月には付替県道青山美杉線全線の供用が開始されました。また、川上ダム本体工事にも着手し、昨年4月に前深瀬川の転流を開始した後、ダム本体を築造する場所を堅い岩盤まで掘削する基礎掘削工事を進め、今年の3月末には概ね完了することが出来ました。

今年度は、ダム本体を築造するコンクリート打設工事を進めていくこととしており、ダムとしての形が目の前で展開していくこととなります。引き続き、安全を第一に周辺環境にも十分配慮し施工してまいります。

今年2月よりダムサイト右岸天端で展望台「WELCOME川上ダム観眺台」の一般開放を行い、今しか見られないダムの工事現場をご覧いただけるようになりました。皆さまと連携・協働しながら、地域を盛り上げてまいりたいと思います。

川上ダムが将来にわたり地域の皆さまにご活用いただけるよう、令和4年度完成に向けて魅力あるダムづくりを職員一同進めてまいりたいと思いますので、引き続きのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



(略歴) 大阪府生まれ、東北(岩手・宮城)育ち。
水資源機構に入社し、日吉ダム建設所を振り出しに各地の建設及び管理事務所の他、本社、国土交通省や財団法人で勤務。
伊賀地方には、平成18年から19年に木津川ダム総合管理所、平成25年から平成28年に川上ダムで勤務。

【所長 瀧上吾郎】

川上ダム平成10大ニュース

今年5月に平成から令和に変わります。川上ダムの平成の出来事を10大(重大)ニュースとして振り返りました。

平成4年 川上ダム建設所 発足

昭和57年に川上ダム「調査所」として設置され、平成4年に建設大臣から事業実施方針を指示されたことに伴い、川上ダム「建設所」が発足しました。

平成8年 一般補償基準の調印

事業用地を取得する際の補償の基準となる「一般補償基準」を地権者の方々との間で妥結しました。



損失補償基準協定書調印式の様子

平成12年 自然環境保全委員会設立

自然環境保全への取組みを推進していくため、有識者による委員会を設立しました。

平成16年 川上区開村式を開催

川上ダム事業にご協力いただいた地権者の皆さまがご移転する、川上移転地の開村式が開催されました。

平成17年 建設促進決起集会を開催

地域住民の皆さまによる決起集会が開催され、たくさんの方の応援の声をいただきました。

平成17年 川上ダム通信創刊

事業広報誌として、本通信を発行開始しました。



川上ダム通信創刊号

平成26年 建設事業継続を決定

平成21年に検証対象ダムに選定され検証を行い、「川上ダム建設事業は継続」とする方針が示されました。

平成29年 付替県道全線が供用開始

ダムに水没する旧県道の付替工事が完了し、平成20年に開通した県道松阪青山線に引き続き、青山美杉線が開通し全線の供用が開始されました。



供用開始式の様子

平成30年 転流開始

ダムサイトでの工事を進めるため、前深瀬川の流れを仮排水路トンネルに迂回させる「転流」を開始し、ダム本体工事が本格化しました。

平成30年 川上ダム本体工事 起工式を開催

本体工事本格化に先立ち、工事の安全と順調な進捗を祈念して起工式を開催しました。



鉄入れの様子

桐ヶ丘団地近傍にて例年通りの湧水量を確認

3月26日(火)、桐ヶ丘団地とダム建設予定地の間にある調査地点において、団地にお住まいの方々の立会のもと湧水量調査を行いました。

この調査は湧水量を測定するもので、川上ダム近隣に位置する桐ヶ丘団地の方々から「ダム完成後に水が貯まることにより、団地側への湧水量が増えて生活に影響があるのではないか」とのご心配の声をいただいているため、平成21年より継続して実施しているものです。

当建設所職員からは、①尾根は強固な岩盤であり水が浸透しにくいこと。②現状の尾根部の地下水位は洪水時になり得る最高水位よりも常に高い状態にあること。という理由から、ダム完成後も団地側への湧水量が増加しないということを説明させていただいております。今回は、ダム建設工事が本格化していることから、工事による影響が無いことをより実感していただけるよう桐ヶ丘団地から程近い箇所にて調査を行いました。結果として、例年通りの湧水量であり、ダム建設工事によって変化が見られないことを確認していただきました。

前回調査も担当した筆者は、工事の進捗に伴い桐ヶ丘団地におけるダム建設への関心が高まっていることを感じました。当建設所におきましては、住民の方々にご安心いただけるよう継続して湧水量調査を行ってまいります。



湧水量計測の様子

天皇陛下御在位三十年記念ダムカード配布中！

5月31日まで限定

天皇陛下が御在位三十年を迎えられたことを記念して、川上ダム建設所では記念ダムカードを配布しています。記念ダムカードは皇室に伝わる「宝物（ほうもつ）」をイメージした特殊デザインとなっています。

記念ダムカードは、今年の5月31日（金）まで通常のダムカードとあわせて配布することとしています。

ダムカードには、ダムの目的や大きさ、貯水容量などの情報が記載されています。特殊デザインは期間限定配布ですので是非この機会に下記までお越しいただき、入手してみたいはいかがでしょうか。



【総務課 大西誉朗】

○ダムカードの配布場所

- ①場 所：川上ダム建設所受付（伊賀市阿保251番地）
日 時：9：00～17：00（土、日、祝日、12/29～1/3を除く）
- ②場 所：青山ハーモニー・フォレスト（伊賀市種生3137-1）
日 時：9：00～17：00 ※4月27日（土）から配布開始
（月曜（月曜が祝日の場合はその翌日）、12/29～1/3を除く）

○配布方法：来訪された方のみに1人1枚手渡しいたします。

月刊！ 川上ダムのいま

～CONSTRUCTION REPORT～

Vol. 11

コンクリート製造設備をつくっています！

現在、ダムで使用するコンクリートを製造する設備をつくっています。設備が完成した後、試験で決定した配合で材料を練り混ぜて、川上ダムに適したコンクリートを製造します。隣接する試験室では、コンクリートに使用する材料の配合を決定するための試験を行いました。



○太郎

コンクリートの材料は、どうするの？

石や砂は伊賀地域の採石工場から、セメントは九州から運んでくるよ。



ダムの人



～本体工事の進捗状況～

■ : 完了 ■ : 施工中 ■ : 未実施

転流工	基礎掘削	基礎処理	堤体打設	試験湛水	完成！ (R 5. 3 予定)
H 3 0. 4 ▼ H 3 0. 9 ▼	H 3 1. 4 ▼	現在	R元. 9 ▼	R 3. 1 0 ▼	
仮排水路 トンネル	仮締切工				

【工事課 野田有佑】

川上ダム通信 編集部メンバー紹介

4月の人事異動により、川上ダム通信編集部のメンバー入れ替えがありました。今年度は新規採用職員3名も新たな記者としてメンバーに加わりました。新規採用職員ならではの目線も取り入れつつ、これからも川上ダムに関する情報や地域の問題などをより分かりやすく発信していきます。よろしくお祈いします。

写真前列左から

西岡記者（新規）、中野デスク、淵上編集長（新規）

大西デスク、小山記者（新規）

写真後列左から

山田記者（新規）、後記者（新規）、子川記者（新規）

山口記者（新規）、藤澤記者（新規）



今年度もよろしくお祈いします！

4月の転出入者の紹介

転出者

所属	氏名	異動先
所長	北牧 正之	関西・吉野川支社
副所長	高野 忠	琵琶湖開発総合管理所
経理課長	金森 幸治	本社
調査設計課長	小牧 健二	総合技術センター
工事課長	市川 滋己	総合技術センター
機械課長	河島 勝也	琵琶湖開発総合管理所
総務課	関澤 佳晃	本社
経理課	谷村 正子	丹生事務所
工務課	小野 周平	徳山ダム管理所
調査設計課	竹内 祐治	草木ダム管理所
環境課	藤岡 奨	総合技術センター
環境課	清水 杏子	思川開発建設所
機械課	豊原 誠	池田総合管理所

転入者

所属	氏名	異動元
所長	淵上 吾郎	早明浦ダム再生事業推進室
副所長	大竹 敏博	徳山ダム管理所
事業調整役	山口 和宏	農林水産省（出向）
経理課長	浅沼 知紀	本社
調査設計課長	鈴木 敦	池田総合管理所
工事課長	富 行穂	総合技術センター
機械課長	安部 聡	国土交通省（出向）
総務課	山口 貴大	新規採用
経理課	古賀 義文	朝倉総合事業所
工務課	鈴木 和春	木津川ダム総合管理所
工務課	山本 健二	本社
工務課	山田 聖	関西・吉野川支社
調査設計課	村上 一徳	国土交通省（出向）
環境課	五十嵐 昇	思川開発建設所
環境課	小山 和也	新規採用
工事課	藤澤 大志	新規採用
機械課	後 雄貴	利根導水総合事業所

川上ダム工事現場見学会開催中！

川上ダムでは、事業に対する理解や興味をより深めていただくため、毎月第3日曜日に、午前・午後の二部構成で、工事現場見学会を絶賛開催中です。

詳しくは当建設所HPをご覧ください。

【第6回】令和元年5月19日（日） **満員御礼**

【第7回】令和元年6月16日（日）
（5月7日より募集開始します！）

大好評につき
募集定員増！



編集後記

いよいよ5月から新元号「令和」が始まりますね。出典は万葉集で、令和の意味は「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」だそうです。古典嫌いの筆者は実は新元号発表の際、古典への拒否反応であまりピンときていませんでした。いろいろなことに興味を持って勉強しないとイケませんね。新年度で環境が大きく変わった方も多いと思いますが令和の意味にならい、美しく心を寄せ合い今年度も頑張っていきたいと思います。

【広報誌発行事務局】

編集長	淵上（所長）	中野（工務課長）
デスク	大西（総務課長）	西岡（用地課）
記者	山口（総務課）	小山（環境課）
	子川（調査設計課）	後（機械課）
	藤澤（工事課）	
	山田（工務課）	

イベントのお知らせ

余野公園つつじ祭り

開催日：令和元年5月12日（日）

開催場所：余野公園

問合せ先：いがまち観光振興会

0595-45-8488

千方のウォーキング&餅撒き

開催日：令和元年5月19日（日）

開催場所：千方窟・高尾地区市民センター

問合せ先：千方伝承会（高尾地区市民センター内）

0595-55-2700

